

生活文・自分の気持ちと、ぴったりくる言葉を考えよう。

①「うれしい気持ち」「かなしい気持ち」を他の言葉に言いえる。

★（例1）「むね」を使って

・むねにせまる　・むねにひびく　・むねがすべ

・むねが高なる　・むねがいっぱい　・むねがいたい

★（例2）「心」を使って

・心が晴れる　・心が軽くなる　・心がときめく

・心がくもる　・心が重くなる　・心が痛い

★（例3）「～い」（形容詞）を使って

・思い出深い　・印象深い　・快い　・ほほえましい

・もの悲しい　・息苦しい　・いたいたしい

②「うれしい気持ち」「かなしい気持ち」を動作で表す。

・とび上がる　・声をはずませる　・にっこり笑う

・うなだれる　・声をつまりせる　・涙を流す

③「うれしい気持ち」「かなしい気持ち」を景色で表す。

・見上げると、青く澄んだ空があつた。（うれしい）

・空は、どんよりとくもつて見えた。（不安な気持ち）

○ 「オノマトペ」を使おう。

「オノマトペ」とは、音や様子を「ドーン」「しゃしゃ」のように置きかえた言葉のことです。オノマトペを使うと、作文が生き生きとします。

●オノマトペを使って文を書いてみよう。

【 風の音、】 と聞いえたよ。

【 】と囁つてみたよ。

【 風の音、】 と聞いえたよ。

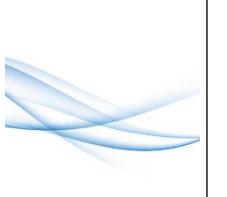
【 】とお話しingみたい。

【 雨の音、】 と聞いえたよ。

【 】と歌つてみたよ。

【 雨の音、】 と聞いえたよ。

【 】と怒つてみたよ。



【注意】書くとき【気を付けること】

音を表すときは、カタカナで、様子を表すときは、ひらがなで書きます。